

海洋立国推進功労者内閣総理大臣表彰受賞記念
帆船日本丸進水91周年記念

柳原良平アートミュージアム特集展示

帆船 日本丸

2020 **12.22** ^{tue} [火]
→ 2021 **3.21** ^{sun} [日]



開館時間 10時～16時30分 (入館は16時まで)

休館日 月曜日 (1月4日[月]は特別開館、1月11日[月・祝]は開館し、翌12日[火]休館)、12月28日[月]～1月3日[日]、1月28日[木]～2月2日[火]

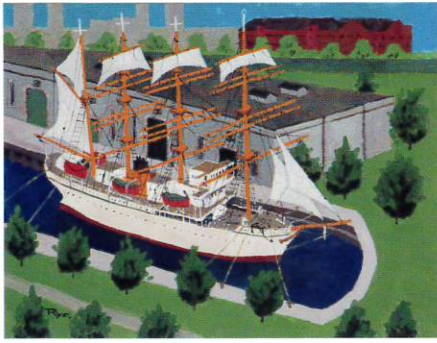
入館料 (常設展示室と共通券) 一般400円 (350円)、65歳以上250円 (200円)、小・中・高校生200円 (150円)

※横浜みなと博物館常設展示室も見学できます。 ※ () は団体割引 [20名以上] ※毎週土曜日は小・中・高校生100円の特別料金になります。 ※帆船日本丸をご見学の場合は別途料金が必要です。
※帆船日本丸は船体整備工事のため1月28日(木)～2月26日(金)までご見学いただけません。



横浜みなと博物館

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい2-1-1 帆船日本丸記念財団・JTBコミュニケーションデザイン共同事業体
TEL 045-221-0280 (代表) FAX 045-221-0277 <https://www.nippon-maru.or.jp/>



1号ドックに係留保存される日本丸(仮題)

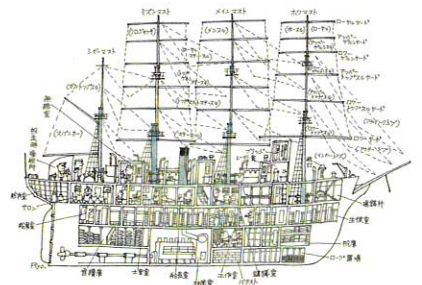
1983(昭和58)年 油彩

旧横浜船渠第一号ドックでの帆船日本丸の係留保存の予想図。帆船日本丸の横浜誘致が決定した年に描かれた



日本丸 1988(昭和63)年 リトグラフ

日本丸メモリアルパークに係留された帆船日本丸。1985(昭和60)年から一般公開が始まった。左下の人物は柳原本人



続 良平の船図鑑

運輸省航海訓練所練習船 日本丸

1969(昭和44)年 ペン画

「柳原良平 第2船の本」に「世界の船・日本の船」として掲載された断面図で各部屋の配置、帆装の各部名称を紹介している



ポスター OSAKA WORLD SAIL '83

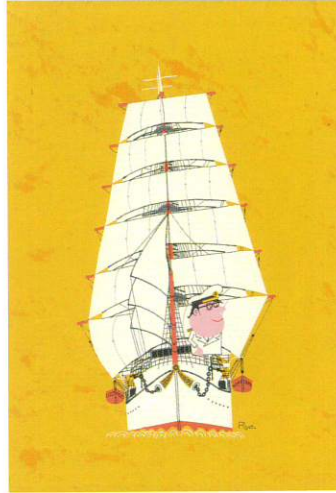
1983(昭和58)年 大阪市

「'83大阪世界帆船まつり」では、世界各国の帆船10隻が帆船日本丸を先頭にパレードした



帆船日本丸 1985(昭和60)年 油彩

右舷船尾側から見た帆船日本丸。手前に描かれた通船の緑色がマストとヤードのオレンジ色との対比でアクセントになっている



帆船日本丸(仮題)

1976(昭和51)年 切絵

「柳原良平 第5船の本」の函絵の原画。正面から見た帆船日本丸とともに船長服姿の柳原本人が描かれている



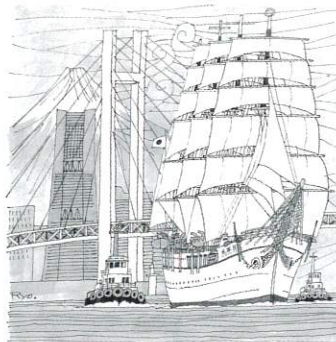
白波と日本丸(仮題)

1987(昭和62)年 リトグラフ



船首 1998(平成10)年 リトグラフ

日本丸メモリアルパークで展覧中の帆船日本丸。左舷側に光が当たり、船体やドックの水面が左右で異なる表情を見せている



横浜港の日本丸(仮題)

2005(平成17)年 ペン画

すべての帆を広げて横浜を出港する帆船日本丸の姿。外に出て帆走する日本丸の姿を見たという柳原の夢を表現した作品



満艦飾 1998(平成10)年 リトグラフ



帆船日本丸(仮題)

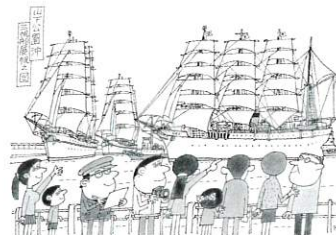
1983(昭和58)年頃 切絵

展覧中の帆船日本丸の船尾様甲板(プープデッキ)。実習生と同じ服装での柳原本人の姿も描かれている



黒潮 2011(平成23)年 リトグラフ

この3点はいずれも初代日本丸の代替船として、1984(昭和59)年に建造された二代目日本丸を描いた作品。船体に濃いブルーのラインが1本入っているのが特徴



山下公園沖三帆船展帆の図

1994(平成6)年 ペン画

帆船日本丸友の会の会報「ヤード」に掲載されたイラストの原画。柳原は「一九九四年の初夢」として、帆船日本丸、現役の二代目日本丸、二代目海王丸が3隻揃って展帆する姿が見たいと語った

帆船日本丸は柳原良平にとってゆかりの深い船です。柳原は引退する帆船日本丸の誘致運動に取り組み、横浜での保存公開が決まった後は帆船日本丸友の会の代表幹事も務めました。

柳原が描いた帆船日本丸の作品を通じて、白い帆を広げた帆船の雄大さ、そして、マストとヤード、ロープによって構成される帆船ならではの直線美をお楽しみください。

海洋立国推進功労者内閣総理大臣表彰受賞記念
帆船日本丸進水91周年記念

柳原良平アートミュージアム特集展示

帆船 日本丸

今回の横浜みなと博物館の展覧会

海洋立国推進功労者内閣総理大臣表彰受賞記念
帆船日本丸進水91周年記念

企画展

日本の練習船～海の上の学校

2021年2月27日[土]—5月9日[日]

日本の経済・社会を支える海運、水産業等を行う人材を育成するための多様な練習船とそこで行われている実習訓練等について紹介します

公益財団法人帆船日本丸記念財団は「海洋立国日本の推進に関する特別な功績」分野で、市民と共に育む海事思想の普及に貢献したことから、2020年10月に第13回海洋立国推進功労者内閣総理大臣表彰を受賞しました

1月27日は帆船日本丸の進水記念日(誕生日)です



● JR根岸線、市営地下鉄ブルーライン桜木町駅下車 徒歩5分
● みなとみらい線みなとみらい駅・馬車道駅下車 徒歩5分



横浜みなと博物館

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい2-1-1
帆船日本丸記念財団・JTBコミュニケーションデザイン共同事業体
TEL 045-221-0280(代表) FAX 045-221-0277
<https://www.nippon-maru.or.jp/>